

第九十回 帝國議會院

金融緊急措置令（承諾を求める件）外十一件委員會議録（速

付託議案  
金融緊急措置令(承諾を求める件)  
日本銀行券預入令(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第九十號(日本銀行券預入令の特例の件)(承諾を求める件)  
臨時財産調査令(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百二十六號(所得稅法中改正等の件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百十一號(通信事業特別會計又は帝國鐵道會計に於ける昭和二十年度の追加經費支辨の爲の借入金に關する件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第二百二十七號(復員に關する經費等支出の件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百五十九號(生鮮食料品、石炭、鐵及び電氣銅に関する價格調整補給金等支出の件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百七十九號(政府職員の給與改善に伴ひ要する經費等支出の件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百八十號(通信事業特別會計業務勘定又は帝國鐵道會計収益勘定に於ける昭和二十年度の追加經費支辨又は歲入不足補填の爲の追加借入金及び帝國鐵道會計用品資金補足の爲の公債發行に關する件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第二百四十一號(昭和二十一年度に於ける大藏省證券及び借入金の最高額に關する件)(承諾を求める件)

出席委員	委員長 竹田 儀一君 理事 鈴木 仙八君 理事 白木 一平君 小野 順次君 寺尾 豊君 村上 勇君 白井 秀吉君 武藤 常介君 海野 三朗君 川島 金次君 二階堂 進君 原 藤右門君	理事 緑田 忠治郎君 理事 河野 密君 片岡伊三郎君 苦米地 英俊君 金光 義邦君 津島 文治君 上田清次郎君 金子益太郎君 東 隆君 喜多橋治郎君
出席政府委員	大藏大臣 石橋 澤山君	
出席國務大臣	大藏政務次官 上塙 司君 大藏參與官 柴田兵一郎君 大藏事務官 野田 邦一君 大藏事務官 池田 勇人君 大藏事務官 榎田 光男君 大藏事務官 江澤 省二君 大藏事務官 阪田 泰二君 大藏事務官 長谷川種彦君 商工事務官 松田 直光君 運輸政務次官 正示啓次郎君	

本日ノ會議ニ付シタ議案  
金融緊急措置令(承諾を求める件)  
日本銀行券預入令(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第九十號(日本銀行券預入令の特例の件)(承諾を求める件)  
臨時財產調査令(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百一十六號(所得稅法中改正等の件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百十一號(通信事業特別會計又は帝國鐵道會計に於ける昭和二十年度の追加経費支辨の爲の借入金に關する件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百五十九號(復員に關する経費等支出の件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百七十九號(政務職員の給與改善に伴ひ要する経費等支出の件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第百八十九號(通信事業特別會計業務勘定又は帝國鐵道會計収益勘定に於ける昭和二十年度の追加経費支辨又は歳入不足補填の爲の追加借入金及び帝國鐵道會計用品資金補足の爲の公債發行に關する件)(承諾を求める件)  
昭和二十一年勅令第二百四十一號(昭和二十一年度に於ける大藏省證券及び借入金の最高額に關する件)(承諾を求める件)

昭和二十一年勅令第二百四十二號  
（外地等職員の歸還に伴ひ要する經費等支出の件）（承諾を求める件）

○竹田委員長　ソレデハ開會致シマス、御申込ノ順位ニ依リマシテ質疑ヲ許可致シマス——川島金治君

○川島委員　私ハ先日ノ本會議ニ於キマシテ、主トシテ大藏大臣ニ、勤労大集ノ生活ヲ中心トシタ五百圓ニ限定スル付テノ御質問ヲ申上ゲタノデアリマス、其ノ席上ニ於キマシテ大臣ハ、今日ノ國民生活ノ粹ヲ五百圓ニ限定スルト云フコトハ非常ナ矛盾ト無理ガアル、是ハ癡テ引外サナケレバナラナイト、斯ウ御答辯ガアリマシタ、ソレニ依レバ、大藏大臣ハ既ニ今ノ國民生活ノ最低ノ保障ト云フモノハ、五百圓ガハ支持出來ナイト云フ御觀點ニ、今日デハ立ツテ居ラレルト云フコトニ私ハ御想像ヲ申上ゲタノデアリマス、サウ云フコトニナリマスト、手近カナ政府ノ今日ノ職員竝ニ現場ニ於キマスル各省ノ從業員ノ人達ノ、現在ノ本俸並ニ諸手當ヲ引括メマシタ一箇月間ノ全収入ト云フモノハ、平均一體ドノ位ニナツテ居ルカ、先般モ申上ゲタヤウニ、厚生省ノ給與課ノ調査ニ依リマシテモ、六大都市竝ニ五萬以上十萬ノ都巿ノ勤勞生活大衆ノ標準生活ヲ見マスト、大體平均八百圓ヲ超エナケレバ、生活ガ成立シテ居ラナイト云フ調査結果ガ判明シマシテ、ソレヲ世間にモ公表シテ居リマスコトハ、大臣モ御承知ノ通リデアリマス、隨テ私ハ此ノ機會

ニ御尋不ラシテ置キタイノハ、大藏省ヲ初メトシマシテ遞信省、運輸省或ハ文部省、或ハ内務省ノ警察官等ニ至ルマデノ、所謂下級從業員ノ今日ノ一箇月ノ收入ト云フモノハ、平均ドノ位デアラウカ、斯ウ云フコトヲ先ヅ質問ノ順序トシテ御伺ヒヲ申上ゲタインオデアリマス、是ト同時ニ先般大臣ハ、勤勞所得税ノ撤廢ハ今日ノ所出來ナイ、私ガセメテモ五百圓ト申上ゲマシタノハ、原則ト致シマシテハ、我々ハ飽マデモ勤勞所得税ヲ撤廢シロト云フ建前ニ立ツテ居リマス、併シナガラ今日マデノ所、多クノ勤労階級ノ生活ノ現状ヲヒシノト私ハ見聞シテ居リマスル時ニ、五百圓以下ヲ以テ一箇月ノ全收入トスル所ノ勤労大衆ニ、百分ノ十ハノ假ニ基礎控除ガアラウト致シマシテモ、是ハ今日ノ生活ノ上ニ洵ニ大ギナ壓迫ヲ加ヘテ居ルノデハナイカ、斯ウ云ソコトニ私ハ考ヘテ居リマスノデ、セメテモ五百圓ノ免税點ヲ私ハ主張シタノデアリマスルガ、此ノ機會ニ、然ラバ、政府關係筋、ダケニデモ宜シイデスガ、或ハ全面的ニデモ才分リデアリマシタナラバ、五百圓所得ノ全收入ニ對シマシテ、今課稅サレテ居ル所ノ各省關係ノ從業員ノ數竝ニ其ノ所得稅ノ總額、尙ホ次ニハ五百圓以上千圓マデノ、同シク數竝ニ所得稅ヲ徵收シテ居ル所ノ總額、更ニ千圓以上ノモノガ分リマスレバ、ソレヲ一應御聽カセラ願ヒタイト思ヒマス、ソレニ依ツテ私ノ質問ヲ進メタクト、斯様ニ考ヘル

○石橋國務大臣 御質問ニ御答へ致シ  
國民ノ最低生活費ガ五百圓ノ件ヲ置クコト  
ハ不自然ダ、是ハ成ベク早イ機會ニ外  
シタイト言ヒマシタコトト、ソレカラ  
ウカト云フコトハ別問題デアリマシテ、  
所謂五百圓ノ件ヲ外スカ外サナイカト  
云フコトハ、資金ノ流通ト申シマス  
カ、金融上ノ措置デアリマシテ、鬼ニ  
角齧圓ト新圓ガアル、ソレカラ個人其  
ノ他ノ收入ノ一部分ノ五百圓ダケハ現  
金デ拂ハレル、アトノ部分ダ封鎖サレ  
テ行クト云フオソナコトハ不自然ナコ  
トデアリマスカラ、サウ云フコトハ外  
シタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマ  
ス、併シソレ故ニ私ガ國民最低生活費  
ガ五百圓デアルト、斯ウ申上ガタ譯デ  
ハナインデアリマス、此ノ最低生活費  
ノ問題ハ又別ニ檢討ヲ要スルコトデア  
リマシテ、是ハ都會或ハ地方其ノ他ニ  
依ツテ相當相違ガアルコトダト私ハ考  
ヘテ居リマス、唯御話ノヤウニ、現在  
或ル地方ノ、サウシテ家族ヲ持ツタ動  
勢大衆、或ハ政府ノ職員等ノ生活ガ、  
五百圓ダケデハ中々困難デアルト云フ  
コトハ、是ハ常識トシテ認メル譯デア  
リマス、但シ此ノ間モ申上ゲタヤウ  
ニ、家族が假ニ自分ヲ合セテ五人アル  
トスレバ、サウシテ其ノ人が五百圓以  
上ノ收入ガアルトスレバ、現金デ拂ハ  
レル五百圓ト、ソレニ加入テ一人當リ  
百圓ヅツ、即チ千圓ダケノ生活ハ出來  
ル譯デアリマスカラ、今ノ様ヲ付ケテ  
置クト云フコトガ多少ノ面倒ガアリ、  
又不自然デアルコトハ事實デアリマス  
ケレドモ、ソレ故ニ國民ノ生活ヲ五百  
圓ニ限定シテシマツタト云フ意味ハナ  
シテ居ラヌト私ハ考ヘテ居リマス  
ソレカラ政府職員中ノ下級ノ人達

ガ、現在下レ程メ收入ガアルカト云  
コトニ付テハ、只今此處ニ數字ヲ持  
テ居リマセヌカラ、後程調査致シマシ  
テ、分ル限リノ資料ハ提出致シマス  
ソレカラ勤勞所得税ノ問題ガ大分近  
頃論ゼラレテ、御質問ノ中ニモアルノ  
デアリマスガ、此ノ勤勞所得税ド云  
名前ガ、或ハ勤勞ト付ケタノガ悪カツ  
タノカドウカ知リマセヌガ、税ハ、最  
低生活費ガ幾ラデアルカラド、斯ウシ  
シマシテモ、其ノ最低生活費ノ收入ニ  
對シテモ税ヲ課ケテハナラス、斯ウ云  
モノデハナイト私ハ思フノデアリマ  
ス、詰リ税ヲ拂ソコトモ生活費ノ一部  
分ニナル譯デアリマシテ、殊ニ源泉課  
税ニ依ル勤勞所得税、所謂分類所得税  
ト云フモノハ、税トシマシテハ、是ハ  
日本バカリデハゴザイマセヌガ、非常  
ニ伸縮性ノアル最モ良イ税デアリマ  
ス、此ノ分類所得税ヲ廢メルト云フノ  
トハ、少クトモ今日ノ税法ノ全體ノ考  
ヘ方ヲ變ヘナケレバ出來ナイコトデア  
リマス、ソレカラ分類所得税ヲヤルト  
スレバ、個人ノ收入——其ノ個人ノ收  
入ト云フモノハ、大體ニ於テ資産收入  
モアリマスケレドモ、サウデナク、太  
部分ノ國民ノ收入ハ勤勞ニ依ルモノデア  
リマスカラ、其ノ勤勞所得ニ對シテ相  
當税ヲ課ケルト云フコトハ已ムヲ得ナ  
イコトガアルシ、又理論的ニ正シイコ  
トダト私ハ思ツテ居リマス、デスカラ  
勤勞所得税ト申シマスト、名前ノ關  
係カラ何カ勤勞者ニ特別ノ負擔ヲ掛ける  
ルヤウニ考ヘラレタリ或ハ生活ノ下  
人ニハ負擔ヲ成ベク輕減スルト云フ程  
度デ、免稅額モ出來テ居ルヤウナ譯ニ  
課カリマスカラ、ソレデ色々ナ議論モ

アリマス、租税ノ建前カラ申シマシテ  
モ、又現在當面スル日本ノ財政ノ状況  
カラ申シマシテモ、所謂勤勞所得稅ト云  
云フモノヲ今日廢メルコトハ適當デナ  
イ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ル次第  
ニアリマス

○石橋國務大臣 アノ五月十一日ノ雜誌ニ出テ居リマシタ意見ハ、アレハイツ述ベタモノカ、述ベタ時期ヲ記憶シナイノデアリマスガ、確カニ現狀ニ於テハ——勤勞所得稅ト言ツタカドウカ忘レマシタガ、分類所得稅ノ免稅點ヲ考ヘナケレバナラヌト云フコトハ述べテ居リマス、私ハ今デモサウ考ヘテ居ル譯デアリマス、今度ノ事後承諾案ノ中ニモアリマスヤウニ、實ハ三月カラ免稅點ハ引上げタノデス、今マデ五十圓デアツタノフ二百圓ニシタノデアリマス、其ノ計算デ行キマスト——私ハ何モ就職前ノ意見ト今日變ヘナクテモ實際ハ非常ニ引上げラレテ居ル、斯ウ云フコトデス、テスカラ、色々相當細カイ計算モシテ居ルノデアリマス、相當下ノ方ノ收入ノ少い人達ニ對シテハ、私ノ希望シテ居ルヤウナコトガ、十分トハ言ヘナイカモ知レマセヌガ、相當程度ニ盛ラレテ居ル、斯ウ云ゾ風ニ私ハ考ヘテ居リマス

○石橋國務大臣 甚だ深刻ナ質問デア  
リマス、アレハ今申上ゲタヤウニ、雜  
誌ニハ五月十日ニ慥か出タ、デスカラ  
其ノ時期カラ見ルトサウ云フ風ナ誤解  
ガ起リマスガ、ソレヲ言ウタノハ何時  
デシタカ、ズット前ナンデス、隨テ無  
論此ノ免稅點ヲ引上ゲルト云フヤウナ  
問題モ起ツテ居ル時デスカラ、其ノ中  
ニ含マレテ、ソレハ時期ノ違ヒて詭辯  
ニナルト言ハレテモ致シ方ガナインデ  
アリマスガ、五月十日ニ言ツタノデナ  
イ、其ノコトダケハドウゾ御諒承願ヒ  
マス

○川島委員 ソレデハ問題ハ十一日ニ  
紙上ニ發表シタガ、言ツタコトハ先ナ  
ンデ、出シタノハ編輯者ノ責任ダ、斯  
ウ御逃げ遊バヌ譯ニナル、併シ私ガ眞  
剣ニ御聽キ申シタノハ、先程大臣カラ  
モ御話ガアリマシタ如ク、五百圓ノ  
生活費ノ件ヲ外サウト言フノハ別ノ見  
解ニ立ツテ居ル、ソレハ一般國民ノ金  
融ノ上デサウシタノノダト大臣ハ仰シ  
ヤツテ居ル、今ノ食糧事情、今ノ物價  
狀況ニ照シテ、五百圓デ月々足リナイ  
モノヲ貯金ニ依リ、預金ニ依ツテ引下  
ゲテ生活出來ル人達ハマダ宜ノノデア  
リマス、出來ナイ人ガ國民大衆ノ中ニ  
ハ多數居ルノデアリマス、殊ニ戰爭  
後相當ニ預金、貯金ヲ持ツテ居ツタ  
ガ、此ノ物價狀況、此ノ食糧事情ニ追  
込メラレマシテ、殆ド今日デハ其ノ預  
金、貯金ヲ拂戻シテ食ヒ盡シテシマツ  
タ、斯ウ云フ事情ニ今日ナツテ來タト  
云フコトハ、恐ラク大臣モ能ク御分リ  
ダト私ハ思フノデアリマス、ソコデ私  
ハ先程先ツ手取り早イ所ガ、政府ノ御  
膝元デアル各省ノ、大多數ヲ山メル現  
場、從業員ノ收入ハドノ位ニナツテ居

ノ實體ト云フモノハ、中ニハ有力ナ故  
郷ガアリ、或ハ有資産家ノ子弟モアル  
デセウガ、ソレハ言フニ足リナイ、政  
府ノ仕事ニ携ツテ、ソレデ生活ヲシテ  
居ル所ノ現場ノ從業員ノ大多數ト云フ  
モノハ、モウ預金モナイ、貯金モナイ、  
ソレデイムヲ得ナイカラ争議ヲ起シテ  
當局ニ迫ツテ居ル、迫ツテ來テ居ルガ  
中々ソレヲ實現スルコトガ困難ニア  
ル、成程政府ニ於キマシテハ、此ノ七  
月カラ相當ナ大幅ノ賃金ノ調整ヲヤル  
ト云フコトハ聞イテ居リマスガ、是ハ  
私ノ想像デ、後テ御發長願ヘレバ結構  
デアリマスガ、其ノ大幅ノ調整ヲ致シ  
マシテモ、尙且ツ厚生省アタリデ綿密  
ニ責任ヲ以テ調査致シマシタ、勤労大  
衆生活費ノ八百圓ト云フ最低ニハ、中  
及バナイ現狀ニアルノデハナイカト  
シテ置イテ、果シテ政府ノ此ノ時局ニ  
處シマシテ、一切ノ末端マデノ行政事  
業、ソレヲ最高ノ能率ヲ擧ゲテ、此ノ  
遠ナル幅ガアル、斯ウ云フ狀態ニ放置  
ル所ノ多クノ勤労生活者大衆ニ、最  
善、最大ノ能力ヲ發揮シテ貰フト云フ  
コトガ安當ナノカ、無理ナノカ、是ハ  
私ガ最早申上ゲルマデモナイ事柄デア  
ラウ、ソコデ私ノ中心ノ問題ハ、五百  
圓デハ食ヘナイ、是ハモウ言フマデモ  
ナイ、然ラバ一體ドノ程度マデ——政  
府ハ此ノ七月ニ政府職員並ニ一般現場  
ニ於ケル所ノ從業員ノ生活ヲ保障シヤ  
カヌ、少クトモ憲法デモ問題ニナツテ  
ウツルノデアルガ、私ハ今日ノ勤労

居リマス國民全體ノ生活ヲ保障セヨ、是コソガ日本再建當面ノ非常ニ重大課題デアリ、政府ハソレヲナサネバヌラス、大藏大臣ハ何時デシタカ、政府職員、從業員ノ給與ハ淘ニ好クナイ、政府ハ赤字ヲ出シテモ此ノ問題ハ確決セナケレバナラヌト、淘ニ心強イトヲツイ十四日前ニ言ツテ居ルノアリオス、ソレハ新聞記者ガ誤リ傳ヘタノダカドウカ知レマセヌガ、其ノ記事ハ私ハ今持ツテ居ル、淘ニ心強イトヲ仰セラタノアリマスガ、ドウモモサハ云フコトガ本當ニ實現シサウモノナイト私ハ心配ワシシテ居ル譯ナノデス、ゾコロ私ハ論ジテ居リマス、其ノ點ヲ一ツ、昨日私ハ其ノ資料ヲ提供シテ戴キタイト云フコドヲ、豫メ關係ノリマス、問題ハソコニアル、ソコデ更ニ筋ノ方ニ顧慮ヒシタガ、ソレガ今以て出テ居リマセヌガ、淘ニ殘念ナノデアリマス、問題ハソコニアル、ソコデ更ニ私ハ一言加ヘマスガ、マツカーサー司令部ニ於テ四月ノ占領報告書ノ中ニ斯ウ云フコトガアリマシタ、日本ニ於ケル賃金ノ絶エザル調整ニモ拘ムズ、一般労務者ノ所得ハ生活費ノ半下補フニ足ラス、斯ウ云フコトガ日本占領報告ノ中ニ「マ」司令部カラ報告サレテ居ル有様デアリマス、私ハセメナラズ、モ政府ノ事務、政府ノ事業ニ携ツテアル、國鐵申上ゲマスレバ五十萬、遞信デ申上ゲマスレバ凡ソ二十萬、或ハ又全國ノ學校教員ノ數カラ言ヒマスレバ、是モ三十萬ヲ優ニ超エル方ガ居リマス、更ニ探察官ナドヲ加ヘマシタナラバ是レ亦相當ナ數、是等ノ人達ガ日本ニ最低ノ生活ヲ保障サレナイ、ソレデ此ノ多端ナル仕事ニ、身ヲ挺シテ精勤セヨト要求スルコトハ無理デアリ、又今日ノ日本ノ現状デハ精勤シテ貢ハナ

趣意ニ反スルコトニナツテ居リマスノ  
デ、是ハ是非根本的ニ制度ヲ改メオバナ  
ラヌト思ツテ居リマス、此ノ間本會議  
デアツタカト思ヒマスガ、其ノ場合ニ  
申上ゲタヤウニ、大體省内ニ新シク給  
與局ヲ設ケ、ソレヲ中心ト致シマシテ  
政府職員ノ給與ニ付テハ根本的ノ調査  
ヲシテ、至急ニ此ノ給與制度ヲ改革シ  
タイト思ツテ居リマス、ソレニハ尙ホ  
「アメリカ」邊リノ知識モ参考ニスル必  
要ガアリマスノデ、先方ニ賴ミマシ  
テ、「アメリカ」カラ其ノ方ノ専門家ニ  
モ、來テ貰ヘルナラバ來テ貰ヒタモト  
云フヤウチ要求モシテ居リマス、此ノ  
制度ヲ根本的ニ變ヘマシテ、同時ニ現  
在ノ物價モ御承知ノヤウニ、色々情勢  
ノ變化ガアリマシテ、是モ根本的ニ尙  
ホ考ヘ直サナケレバナラヌ時期ニナツ  
テ居リマスカラ、ソレ等ト兩々相俟チ  
マシテ、尙モ給與ノ金額ニ付テモ、制  
度ヲ變ヘルト同時ニ其ノ際ニ改メテ、考  
ヘタイト思ツテ居リマス、今行ハウト  
スル政府ノ給與ノ増額ハ、大體政府職  
員組合カラノ要求ニ略ニ一致シタ程度  
ノ増額ニナルノデアリマス

支拂ガ從來五千圓ノ所一萬圓ガ一萬圓ニ引上  
タ、洵ニ一應適切ナ御處置デアラウト  
思フノデスガ、是ハ戰災者、疎開者、  
引揚者ノ建物ノ修繕、建築ニ限ッテノ  
問題デアリマスカ、五千圓ガ一萬圓ニ  
ナル、一體大藏省デハ今日ノ狀況ニ照  
シテ、一萬圓デ人間ガ住メヤウナ建  
物ガ出來ルカ、ドウ云ア御見解デ斯ウ  
云ウ金額ヲ限定サレタノデスカ、ソレ  
トモ戰災者、疎開者、引揚者ノ住ムニ  
家ナキ者ニ對シマシテハ、其ノ一萬圓  
ノ限度内テ、政府ハ全力ヲ盡シテ人間  
ノ住メルヤウナ家ヲ作ル爲ノ一切ノ資  
材ヲ斡旋シヨウ、援助シヨウ、協力シ  
ヨウ、ソレニ依ツテ氣ノ毒ナ戰災者、  
強制疎開者、而モ此ノ強制疎開者ノ中  
ニハ、實ニ話ニモナラヌ、地方廳ノ役  
人ナドハ豫算ガ殘ツテ居ルカラト稱シ  
テ、豫算ノ爲ニ終戦ノ二日前ニ強制疎  
開ヲサセタト云フヤウナコトモナイデ  
ハナイ、其上ニ海外引揚同胞ハ、今ヤ  
著ノミ著ノ儘デ、妻ヲ抱ヘ、子供ヲ抱  
ヘテ陸續ト歸ツテ來ミ、而モ住ムニ家  
ノナイ同胞ガ澤山居ル、假ニ是等ノ人  
達ガ自分等ノ手デ家ヲ建テル旨安ガ付  
イテモ、折角ノ建築資金ト云フモノハ  
最高ガ一萬圓、是デハ鶏小屋モ建タナ  
イ、之ヲ何トカ當局ハモウ一層考へ直  
ス餘地ナナイカ、又考へ直シテヤルベ  
キダト私ハ思ヒマス

ソレカラモウ「ツハ醫療費ノ支拂  
ヒ、是ハ耳障リノ人モアルカモ知レマ  
セヲガ、此ノ醫療費ノ封鎖拂ヒト云フ  
モノハ、實際開業醫ハ喜ンデ居リマセ  
ヌ、開業醫ニ言ハセンバ、總テ藥モ材  
料モ配給ダケデハ足ラヌカラ闇デ質ツ  
テ居ル、公定ノ五倍、十倍、中ニハ二  
十倍モスルモノヲ仕入れテ醫療ニ從事  
シテ居ル、其ノ場合ニ封鎖拂ヒダケデ

ハトテモ醫療ガヤツテ行カレナイ、隨テ現金ヲ患者カラ要求スルト云フノガ、恐ラク例外ノナイ程ノ實況デアリマス、而モ其ノ上ニ醫療費ト云フモノハ、直接費ト御承知ノ通り差賛ト云フモノガ掛ル、今日ノ狀況デハ醫者ニ治法直接ノ醫療費ヨリモ、其ノ病人ヲ治ス間接ノ費用、例へバ營養費トカ或ハ看護費トカ、或ハ又其ノ他ノ雜費ガ非常ニ莫大ニ掛ル、是ハヤハリ醫療用ノ一部ノ品物ニ對シテハ配給モアリマスガ、ソレハ實際ニ於テヘナイト同斷デアリマスカラ、一切是レ本闇デ貰ツテ病人ヲ治サナケレバナラヌ、其ノ場合ノ支拂ヒラ要求スレバ、醫者ノ方ノ證明ハ大體ニ於テ實費デアリマス、隨テ三倍五倍ト云フ間接費ハ出所ガナイ折角二十日間デ治ルヤウナ患者ガ一箇月、二箇月掛ル、三月テ治ル患者ガ半年モ

掛ルト云フヤウナ實例ガ相當ニアル、ソコデ此ノ醫療費ノ直接費竝ニ間接費ヲ引括メタ、患者、醫療者ニ、而そ全快セシメルニ足ルダケノ費用ト云ノモノハ、當局ガ認メテ、封鎖預金ノ中カラ支拂ガ出來ルヤウニ、之ヲツ御考ヘ願ヒタイト私ハ思フ、是ハ非常ニ各地ニ於テ困シテ居ル、今後恐ラク此ノ時節デ傳染病モ非常ニ蔓延スルデアリマセウシ、人間ノ體モ弱ツテ居リマスカラ、色々ナ病氣ガ續出スル傾向ニアルキタイト思フノデアリマオ、御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 戰災者等ニ對スル特

殊預金ノ件デアリマスガ、是ハ實ハ餘リ涉外關係ノコトヲ申スコトハ好マナ

イノデアリマスガ、其ノ方ノ關係カラ

種々面倒ナ制限ガアリマシテ、實ハ我

我ニモ今専ラ苦心ヲシテ居ル次第アリ

リマス、同時ニ資材關係モアルモノデ

アリマスカラ、關係方面デ言フコトモ

一概ニ排斥モ出來ナイヤウナ狀況モナ

イデハアリマセヌ、併シ私モ戰災者ノ

一人デアリマスガ、戰災者ガ非常ニ住

宅其ニ他ニ困ツテ居ルト云フコトハ、

十分政府トシテモ認メテ居ル譯デアリ

マス、是ハ單ニ特殊預金ノ關係バカリ

デナ、是ハ私ノ方ノ直接ノ所管デハ

アリマセヌケレドモ、何等カ是等ノ問

題ニ付テハ、大ギナ手ヲ政府トシテハ打

タネバナラナイノデハナイカ、斯ウ云

ル次第アリマス

ソレカラ醫療ヲ封鎖預金デ拂フト

云フコトハ醫者ガ好マナイ、又好マナ

イ理由ガアルト云フコトモ、御説ノ通

リ十分私モ認メテ居リマス、甚スルニ

是ハ何時モ申上ケルヤウニ、封鎖預金

ト自由預金ト云フヤウナモノノアルコ

トガ根本的ノ缺點デアリマシテ、早ク

左様ナ區別ヲ取除クト云フコトニ進進

致シタイト思フテ居ル次第アリマ

ス、併シ尙ほ醫療費ニ付テハ特ニ重要

ナ事柄デアリマスカラ、十分御説ヲ考

考ヘニナツテ居リマスカ、更ニ第三點

ト致シマシテハ、財產稅ノ徵收ニ當リ

イテ居リマスガ、是ガ決定事項デアリ

マスカ、ソレトモソレ以上ノコトヲ御

デアルカ、之ヲハツキリシテ戴キタ

イ、一説ニハ三萬圓マードト云フ話ヲ聞

考ヘニナツテ居リマスカ、更ニ第三點

ト致シマシテハ、財產稅ノ徵收ニ當リ

マスカ、ソレトモソレ以上ノコトヲ御

デアルカ、之ヲハツキリシテ戴キタ

イ、一説ニハ三

スノハ、三萬圓以下ナシテモノハ誤ケ  
ナイ積リデアルト云フコトデアリマス  
ソレカラ其ノ使ヒ途ニ付テデゴザイ  
マスガ、財產稅ヲ取リマシテ、是ハ理  
論的或ハ實際的ニ種々ナル使ヒ途ハ考  
ヘラレル譯デアリマス、若シ財政二十  
分ノ餘裕ガアル場合ナラバ、理論トシ  
テハ財產稅ノ歲入ハ國家ノ負債ノ償却  
ニ充テルノガ正當ダト私ハ考ヘテ居リ  
マスルガ、併シナガラ今日ノ財政ノ狀  
態カラ申シマスルト、サウハ参リマセ  
ヌノデ、ヤハリ是ハ當面ノ財政支辨ニ  
使ツテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居  
リマス

ソレカラA、B、Oノ區別デアリマ  
スガ、是モ御説ノヤウニ今日ノ經濟界  
ノ狀況、又今後ノ狀況ノ變化ヲ見マス  
ルト元來少カツタ大資產家ガ段々影ヲ  
没シマシテ、所謂A「クラス」ト云フモ  
ノガ少クナルト云フコトハ事實デアリマ  
ス、隨テA「クラス」ヨリ取ルノガ當初  
ノ豫想ヨリモ減リ、B「クラス」モ同  
様ニ減リO「クラス」へ或ル程度課カ  
ツテ、行カナケレバナラヌト云フコトニ  
ナリマセウト思ヒマスケレドモ、併シ  
免税點ノ點で以テ餘リニ小資產ノ人ニ  
此ノ稅ガ課カツテ來ルコトハ避けタイ  
ト考ヘテ居ルノデアリマス、又A、B、  
O、是ハ調査ハ無論シテ居リマスケレ  
ドモ、マダA、B、Oカラノ徵稅額ガ  
幾ラニナルカト云フコトノハツキリシ  
タ數字ヲ申上ゲルコトハ出來ナイ狀態  
ニアルノデゴザイマス

○川島委員 只今ノ大臣ノ御説明ニ依  
リマスト、財產稅ノ總額ハ今ノ所ハ分  
ラナイト言ヒマスガ新聞ナドノ報道ス  
ル所ニ依リマスト大體一千億ト云フノ  
ガ六百億限度デ止マルノデハナイカ、  
即チ當初カラノ見込トハ四百億カラノ

B、Cノ全體的ノ調査ヲ見ナイト分リ  
マセヌガ、減額シタ上ニ、而モ其ノ數字ノ結果ハ、恐ラク大部分ヲ此ノ「タラス」方負込ムト云フ形ニナラナト  
レバ宜イト私ハ心配シテ居リマス、  
體財產稅ノ目的ハ何處ニアルカ、戰争  
中相當大事業ラヤリ、其ノ他ノコト大  
イニ金庫ケ、財產ヲ作ツタ、戰爭  
ハ金儲ケニナラヌモノダト云フコトヲ  
先づ知ラシメル意味デハナカツタデ  
ウカ、相當戰爭デ儲ケタ其ノ財產ヲ  
ノ敗戰國家再建ク爲ニ一ツ貢獻シテ貰ヒタ  
ヒタイ、協力シテ貰ヒタイ、ソコニハ少  
少クトモ狙ヒガアルノデハナイカヘ  
然ルニ法人財產増加稅ヲ撤廢シ、一  
ニ於テハ稅率ヲ改廵スルガ、下ノ方  
薄イ大臣ハ申サレマシタ、是ハ統計  
ガ出テ居ナイカラ分リマセヌガ、私  
想像デスガ、總額ハ減ツタ上ニ、當  
ノ目的タル所ノ、本當ニ戰爭中ニウ  
カヤツテ金ヲ儲ケタ連中カラハ根ヨ  
ギ取レナイヤウナ狀況ニナツテシマ  
タ、幾度力此ノ議場デモ出テ居ルガ、  
戰爭中眞面目クサツテ「ブローカー」  
セズ、闇モセズ、戰爭ノ爲ニ政府ノ  
フコトニ協力シ、眞剣ニナツテ、ソ  
コソ減私奉公デ汗水垂ラシテ働イタ  
ノ三萬圓、五萬圓ヲ正直者ノ方面カ  
根ヨソギ取ツテシマフ、中以上ノ者  
ラノ徵收ト云フモノハ、洵ニ當初ノ  
想ヨリモ意ノ如クナラナイ、斯ウ云  
結果ニナルコトハ、私ハ少クトモ國  
全體ニ及ボス心理的影響ト云フモノ  
大キイノデハナイカ、私ハ本會議  
問ヲ致シマシタガ、緊急措置令ト  
レニ財產稅ノ發表ノ期間ガ三月モア  
タコトハ、其ノ間ニ大金持ト云フモ  
ハ大體ニ於テ換物シテ居ル者ガ、私

見聞シタ所ニ依リマスト、可ナリアル  
ヤウニ想像シテ居ル、金ノアル階級ト云フ  
モノハ政府ノ施策ニ協力シナイ、  
實態のニハ何時モ大衆ニ屬スルモノガ  
ソレヲ負擔シナケレバナラヌト云フ結  
果ニ陥ルコトハ政治デナイト思フ、  
殊ニ日本ハ敗戦ノ此ノ現状ヲツ再建  
シヨウ、ソレコト上モ下モ真ツ裸ニナ  
ツテ此ノ日本ヲ民主化シ、一日モ早ク  
日本ヲシテ國際的ノ地位ニ伍スルト云  
フ所マデ、オ互ヒニ血ミドロナ姿ニ  
ルコトコソガ、私ハ日本ノ眞ノ今ノ建  
前デハナイカ、所ガ政府ノヤル所ニ依  
リマスト、私ハ故意カ偶然カ知リマセ  
スガ、動モスレバ大金持、大資産家階  
級ノ爲ニ、結果ニ於テハ圖ツタヤウナ  
印象ヲ國民ノ中ニ強ク植付ケテ行クヤ  
ウナヤリ方ヲシテ居ル、ソレデ此ノ敗  
戦日本國民全體大衆ノ協力ガナクシ  
テ、此ノ日本ガ建直リマセウカ、工場  
ノコトニキマシテモ、僅カ五十七百  
ノ大資産家ノ工場ガ再開シ、生産ガ旺  
盛ニナツカラト云ツテ日本ノ産業ハ  
確立出来マセヌシ、再建モ出來マセ  
ヌ、比較的眞面目ニ、眞剣ニナリ得ル  
ヤウナ條件ニアル中小工業ナドモ、其  
ニ携ハルヤウナ懸勢ヲ整ヘテヤラケ  
レバ、日本ノ産業ノ確立ナドト云ソ  
ノハ私ハ思ヒモ及バナイト思フ、ト  
時ニ、一體政府ハ國民生活ノ保障ト口  
デハ言ソガ、其ソ保障ガオ膝元ノ役人  
ノ保障スラ出來ナイ、サウシテ一方ニ  
於テハ具體的ナ經濟政策ノ上ニ於テ、  
繰返シテ申上ゲマスガ、動モスレバ勵  
努大衆ノ生活ト云フモノヲ犠牲ニシサ  
本ノ一億ノ國民ガ裸ニナツテ協力シ

テ、此ノ苦難ヲ乘切ラワザヤナイカト  
云フ熟意ト云フカ、氣魄ガ出テ來ナイ  
ノヤナイカ、寧ロアベコベニ政府ノ  
威信ヲ失墜シ何時マデ經ツテモ政府ヲ  
信頼スルニ足ラズト云フ大衆ノ考へ方  
ガ、從來モアリマスガ、サウ云フコト  
デハナイ、私ハ日本全體ノ再建ノ問題  
ニ懸ル根本的重大ナ事柄デハナイカトニ  
考ヘテ居ル、其ノ點ニ付テノ大藏大臣  
ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○石橋國務大臣 財產稅ノ問題ガ起リ  
マシテカラ、或ル一部ノ人達ガ之ヲ逃  
レル爲ニ換物運動ヲ行ソタト云フコト  
ハ、的確ナ事實ヲ私ハ擗ヘテ居ル譯デ  
ハアリマセヌガ、世間ノ嘆ニ當時アツ  
タヤウニ――アツタデアリマセウ、併  
シソレガドウ云フ人達ニ依ツテ行ハレ  
タカト云フコトモ相當問題デアリマス  
ガ、併シ、ソレハ本會議デモ申上ゲマ  
シタヤウニ、前内閣時代ニ特ニ財產稅  
ヲ早ク行ブ筈デアツタノガ行ヘナクナ  
ツタト云フ手違ヒカラ生ジタ爲ニ、三  
月財產ノ調査令ヲ出シテソコデ區切り  
ヲシマシテ、隨テ其ノ後ハ所謂換物運動  
ガ起テナカツタ、財產稅ヲ逃レル爲ニ  
換物運動ハ起り得ナカツタモノト私  
ハ考ヘテ居リマス

○川島委員　具體的な数字が出て來ま  
セヌカラドウモ水掛論ニナリマスガ、  
一日も早く、昨日要求シタノデアリマ  
スガ、此ノ財産税ノ審議ニ極メテ重要  
ナ關係ノアル資料デアリマスカラ全員  
ニツ御示シ願ヒタインオデアリマス  
只今大臣ハ上ノ方ニ相當ナ辛イ者ガ  
出来ルダラウ、ソレハアルデセウ、アツ  
テモソレハ今日ノ數字ノ實態ニ於テ辛  
イ者ガ出来ルノデアツテ、實ハソレ以  
前ニ適當ナコトヲヤツテ居ル面モアル  
ノデハナイカト私ハ思ヒマス、尙ホ今  
日目一バイ取ラレタヤウナ形ニアル  
ガ、實際ニハサウデナカツタ、斯ウ云  
フ面が出来ナイトハ保シ難イ實際ノ狀  
況デハナイカト私ハ思ヒマス、ソレデ  
只今申上ゲマシタヤウニ、一面ニ於テ  
正直ナ下層ノ僨カ三萬、五萬ノ財產  
ヲ持ツテ居ル連中ガ規則通り根コソギ  
持ツテ行カレル、是ハモウ事實嘘モ隱  
シモナイト云フ狀態ニナルノデハナイ  
カト私ハ心配スルト云フコトヲ申上ゲ  
タノデアリマス、ドウモ繰返シテ申シ  
マスルヤウデ諱イヤウデスガ、モウ少  
シ政府ハ大衆ト云フモノニ重大ノ關心  
ヲ持ツテ經濟政策、財政政策ヲヤツテ  
戴キタイ、一方ニ於テハ勤勞大衆ノ生  
活ヲ保障スルコトガ出來ナイ狀態ニ放  
任シテ置キナガラ、勤勞大衆生活ノ負  
擔トナール如キ煙草ヲ、六十錢ヨロノ  
モノヲ一躍一圓五十錢ニ上ゲルサウ  
カト思フト河合厚生大臣ハ、是最近デ  
ハナイデスガ、煙草ハ平均一圓七・八十  
錢ニ引上ゲルノガ公當デアル、序デニ  
酒モ此ノ際一升五十圓位ニ上ゲテシマ  
ヘ、斯ウ言ツテ居ル、サウシテ國民ニ  
安イ煙草ト安イ酒ヲ飲マセルコトハ癖  
ニナル、斯ウ言ツテ居ル、一體サウ云  
フ氣持ツ以テ政治ヲサレルコトハ勤勞

ハレテ居る人ガ、斯ウ云ツタ言葉ヲ發思的、感情的ナ影響ガ甚大デハナイカト思フ、大藏大臣ニサレマシテモ、東洋經濟デ御就任ノ直前ニハサウ言ツテ居リナガラ、就任サレタラ、ソレハ出來ナイ、河合サンハ河合サンデ、酒ハ上ゲル、安イ煙草ヲ吸ハセルコトハ無ニナルト言ツテ居ル、一體酒ト煙草ハ誰ガ飲ム、大地主ト大金持ダケガ酒ヲ飲ミ煙草ヲ飲シテ居ル、ソレヲ安イ酒ヤ安イ煙草ヲ飲マスコトハ鮮ニナル、之ヲドンノヽ、上ゲテ國家ノ財政ノ有力ナ財源ニシテ飲メナインハ何カ甘イ物ヲ欲シトイト言ツテ居ル、ソレヲ安イ酒ヤ安イ煙草ヲ飲マスコトハ鮮ニナル、之ヲドンノヽ、上ゲテ國家ノ財政ノ有力ナ財源ニシテ行ク方ガ國ノ爲ニナルノダ、成程數字對スル協力、昔ノ言葉デ言ヘバ忠誠ノ心、是ガ沸キ上ル所カ却ツテ達效果ニナツテシマフノヂヤナイカ、私ハ大蔵大臣ガ決定スルノアリマス、此ノ機會ニ一寸御詫ネスルノデズガ、先達テ大蔵大臣ハ酒、煙草ノ値上ダヨ決定致シマシタ、アレハ開議ヲ決定スルノカ、大蔵大臣ガ決定スルノカ知レマ、セヌガ、開議ノ席上テ河合厚生大臣カラ何カ酒ノ現狀カラ言ヒマシテ、酒ヲ飲ンデ居ル問題デモ出たノカ、私ハ此ノ機會ニ隠イテ置キタイ、而モ酒ノ問題ガ出たカラ私ハ言フノアリマスガ、今日日本ノスルト云フコトハ、私ハ國民ニ對スルセヌ、酒飲ミ階級ト云フモノハ大概財産税ヲ言ヘバ A「クラス」階級、B「ク

「テス」特級ニ屬スル者ガ飲ンデ居ル、一般ニ混合フ電車デ今ニモ死ヌノデハナイカ、心臓方止ルノデハナイカト云フヤウナ様ミクシヤノ電車ニ乗シテ、朝早ク通ツテ來テ、又退廳スル多クノ人達、其ノ人達ハ酒ハ飲ンデ居ラナイシ、又飲メナイ、「ビール」一本閣デハ三十四、酒一升、五百五十圓モ出サナケレバ手ニ入ラナイト云フ今日、而モ金ガアレバ酒カ何處カラデモ手ニ入ルト云フ現狀ハドウ云フ譯ダ、勵ク勤勞大衆ニハ慰安トアル酒カ一滴モ手ニ入ラズシテ、大キナ料理店或ハ別ノ方面ニ金サヘアレバ其ノ酒ガ入ツテ來ルト云フ此ノ現狀ノ有無、成程斯ウ云フ形ニシテ酒ハ一般ノ國民ニモ配給サレテ居リマスト仰シヤルデアリマセウガ、事實ハ絶對ニ反對ノ現象デアリマス、勵ク者ノ手ニハ酒ハ入ツテ居リマセヌ、勵カザル、裕福ナ、閑ノアル、金ノアル——新圓ハ本當ナラバ手ニ入ラナイガ、現實ハ何時テモ新圓ノ入ル階級ガアルヤウニナツテ居ル、サウ云フ連申ガ酒ガ飲メル、一體酒ト云フモノハドノ位造ツテドウ云フ風ニ配給サレテ居ルノデスカ、私ハ此ノ機會ニ御幸ネラ申上ゲテ置キタイ

タ、併シ御承知ノ通り諸其ノ他ノ難原  
料ハ、七月一日カラ製造場ニアルモノ  
マデモ食糧ニ供出スルコトニナリマシ  
タノデ、合成酒或ハ焼酎ハ見込ミ程逆  
モ造レスト思ヒマス、「ビール」ニ付キ  
マシテハ是し亦手持ノ麥ヲ供出致シマ  
シタ、隨テ昨年來特ツテ居リマス麥芽  
ヲ使ヒマシテ、來年今頃位マデハ製  
造ガ出来ルカト思ヒマス、隨ヒマシテ  
シタ、別ニ去年來數社ト申シマスカ、『アル  
コール』ニ分ニ換算致シマスト、百七八  
十萬石ノ配給數量ニ相成リマス  
之ヲ如何ニ配給スルカ、戰時中ハ軍  
需產業其ノ他ノ特別產業用ニ相當出シ  
テ居リマシタガ、敗戦後ハ主ナル產業  
用トシテハ農產物供出用ニ三十萬石特  
別ニ取シテ居リマス、ソレカラ又戰後  
ニ於キマシテモ、輸送關係或ハ鐵山關  
係其ノ他職後必要ナ特別產業ニハ、戰  
時中ト同様ナ方法デ配給ヲ致シテ居リ  
マス、其ノ次ハ家庭用デザイマスル  
ガ、大體月ニ四合程度ヲ見込ンデ家庭  
配給致シテ居リマス、業務用ニ付キマ  
シテハ一年間十三萬石程度デゴザイマ  
シテ、全體ノ一割ニモ足リナシ狀況デ  
ゴザイマス、戰爭開始當時ノ業務用ノ  
酒ニ比べマスト、殆ド比較ニナラナイ  
程少々量ニ業務用ニ遙シテ居ルニ過ギ  
マセキ、以上ノヤウナ狀況デゴザイマ  
ス

○川島委員 月ニ四合ト云フノハ國民  
全體デ、農村關係、鑛山關係ハ別ダト  
言フガ、實際ニ於テハ我々一般國民ニ  
此ノ四合カ渡ツテ居ルカドウカ、洵ニ  
疑問デアリマス、而モ只今申上ダマシ  
タヤウニ、金サヘアレバ酒ガ手ニ入  
ル、斯ウ云ソコニ付テモ、折角大藏  
省デナケナシノ米、甘露、馬鈴薯其ノ  
他ノ雜穀ヲ使ツテ、國民ノ爲ニ酒ヲ造  
ツテ居ラレルノデシタナラバ、其ノ酒  
ヲ造ル眞ノ目的ヲ發揮ノ出來ルヤウナ  
方面ニ、重大ナ關心ト注意ワーッテ拂  
ヒヲ願ヒタイト思フ、國民ニハ四合平  
均月ニ配給シテアルト數字デハ仰シヤ  
ルデアリマセウガ、實際ハサウデナク  
テ、金持ガ金ヲ出セバ酒ガ飲メルノダ  
ト云フ此ノ現實ノ社會現象、サウ云フ  
コトニ對シテハ少クトモ造ツテライシ  
シヤル當局ガ、常ニ重大ナ關心ヲ持タ  
レマシテ、ソレゴソ寡オ患ヘズ均シカ  
ラザルフ患ヘルト云フコトニナルトウ  
ニ、今後トモ重大ナ關心ト注意ワーッ  
御際ニ申上ガタインデアリマス  
ソレカラ御合學生大臣ハ、酒モ序ニ  
値上ゲラシロト云フ、ヤウナコトヲ言ツ  
テ居ルノデスガ、閣議ナドノ席上デサ  
ウ言ツタコトガアリマンシタカ  
ソレカラ細カイコトニナリマスガ、  
煙草ト云フモノハ是モ國民大衆ノ關心  
ヲ持ツタコトデアリマスカラ、一應御  
聽キシマス、煙草ハ一體最近月ニ本數  
ニ致シマシテ何千萬造ツテ居ルノデス  
カ、又今後ドノ位ノ増産見込ヲ持ツテ  
居ルカ、ソレモ色々ノ事情ア現狀デ  
進ムノカ、更ニ增産ヲスルト云フ設  
備、又材料資源ナドノ見透シヲ持ツテ  
居ラレルカ、ソレニ依ツテ將來國民ニ  
今ノ配給量ヨリモ餘分ニナルデアラウ  
ト云フ御見込ヲ持ツテ居ルカ、又サウ

云フコトタ國民ノ前ニ約束出來ルヤウ  
ナ狀況ニナツテ居リマズルノカ、是モ  
念ノ爲ニ此ノ機會ニ御聽キシタオト思  
ヒマズ  
○池田(勇)政府委員 所管ガ達ヒマズ  
ノデ、正確ナ數字ハ申上ゲ兼ネマス  
ガ、私ノ間イテ居リマス所デハ、大體  
一年五百億本餘ヲ製造スル見込デ居リ  
マス、隨ヒマシテ毎月四十億本餘ト相  
成ルト思ツテ居リマス將來増産可ト  
能デアルカドウカト云フ問題デゴザイ  
マスルガ、御承知ノ通り葉煙草ノ作付  
ハ累年減ツテ參リマシテ、本年ハ昔ノ  
五萬町歩ガ二萬五千町歩ニ相成ツテ居  
リマス、跨ツテ葉煙草ノ供給ノ點、又  
焼ケタ機械ノ修理改造ノ點カラ考ヘマ  
シテ、早急ニ此ノ五百億本ヲ殖ヤシ得  
ナイノデハナイカト云フコトヲ聞キ及  
シテ居リマス、尙ホ初メノ酒ノ問題ニ  
付テ申上ゲマスガ、只今四合平均ト申  
上ゲマシタノハ一年間ノ計畫デゴザイ  
マシテ、先程申上ゲマシタヤツニ合成  
酒或ハ燒酒、「ビール」ノ原料供出ニ依  
リマシテ、減ジタ場合ニ付キマシテ  
ハ、是ガ或ル程度減ツテ來ルト思ヒマ  
ス、又配給ニ付キマシテハ、戰時中大減  
省ノミナラズ、製造業者或ハ關係各省  
ト協議會ヲ開イテ致シテ居リマシタ  
ガ、今後ハ消費者側ノ方モ入レマシ  
テ、適當ナ配給ヲヤツテ行キタイ、  
斯ウ考ヘテ居リマス

ニ有力ナ方ガ、政府ノ財政ノ根本的ナ  
直シラスル爲ニ、國鐵、遞信事業等  
ノ官營事業ヲ、民營ニ拂下ゲルコトガ宜イ、斯  
必要ヂヤナイカ、ソレニ依シテ「イン  
フレ」ノ重大ナ要素トナシテ居ル財政  
上ノ大壓迫ヲ解放スルコトガ宜イ、斯  
コトヲ言ツテ居ルカドウカハ知リマセ  
ヌガ、在野ノ時代ニソレヲ非常ニ強力  
ニ、數字ヲ擧ゲテ主張サレタ方ガ居  
マス、重大ナ事柄デアリマスカラ、名  
前ハ「寸控ヘマスガ、一體今ノ政府當局ハ、官營事業ヲ政府ノ財政ノ逼迫カ  
テ逃レヨウト云フ考ヘ方ダケデ、官營  
事業、即子國鐵、遞信事業ナドヲ民營  
ニ拂下ゲルト云フヤウナ考ヘ方、サウ  
云フ方向ニ進ンデ居ルカドウカ、之ヲ  
一言御尋ネシテ置キタイ、同時ニ又  
大藏大臣個人ノ御所見ハ斯ウ云フ問題  
ニ付ナハ一體ドウ云フ考ヘ方ヲ持ツ  
テ居ルカ、是モ併セ御尋不致シマ  
ス、私ノ質問ハマダニツ残ソテ居リマ  
スガ、何レ資料ガ入リマシタ時ニ改メ  
テ御尋ネスルコトニ致シマシテ、是ダ  
ケヲ最後ニ御尋不致シマス

○竹田委員長 金子君

○竹田委員長 金子君  
○金子委員 簡單に申上ゲマス、私  
今日問題ニナツテ居ル所ノ中小工業者  
ノ問題ニ對シマシテ大藏大臣ニ御尋  
シタイト思フノデアリマス、今後日本  
ノ産業方中小工業ヲ中心ニシテ勃興シ  
ナケレバナラヌト云フコトハ、最早今  
日ニ於キマシテハ當識ニナツテ居ル  
思フノデアリマス、ソヨデ今日ノ此ノ  
金融緊急措置令ヲ受ケマシタ中小工業  
者ハ實際ドウ云フ現状ニ立到ツチ居ル  
カ、ソレハ簡單ニ申上ゲマスト、現在  
ノ封鎖支拂ニ依ル所ノ事業經營ダケニ  
ハ今日ノ中小工業者ハ行詰ツテ來アリ  
リマス、特ニ先月二十一日ニ出マシタ  
所ノ金融緊急措置令ノ改正ニ依リマ  
テ更ニソレガ拍車ヲ掛ケラレテシテアリ  
タク、一ツノ例ヲ申上ゲマスト、是ハ  
モ實ハサウ云ツタ中小工業者ノ一人  
デアリマスカラ能ク分ルノデアリマ  
ケレドモ、例ヘバ今進駐軍ノ注文ヲ  
ケテ仕事ヲ致シマス、勿論は課會計  
ガアリマシテ、子會社ニ下請ニ廻ツテ  
來ルノデアリマスケレドモ、此ノ特ニ  
重大ナト云フ力最優先的ナ仕事デアリ  
ル所ノ進駐軍用ノ仕事ヲヤリマシテア  
モ、現金ハ二割デアリマシテ、アトハ  
全部封鎖支拂デアリマス、是ハ親會  
ニ對スル所ノ支拂デアリマスカラ、期  
會社ガ下請工場ニ出シマス時ニハ、親  
會社ガ賃ツタニ割ノ中ノ何割カガ現会  
ニ下請工場ニ出テ、アトハ全部封鎖ス  
ト、商工省ノ方デハ資材ヲ輸送シマ  
ス、是ハ非常ニヤカマシイノデアリ  
ハ、例ヘバ、商工省アタリカラ親會  
ニ出ル、ソレガ下請ニ出ル、サウス  
ト、商工省ノ方デハ資材ヲ輸送シマ

マレドモ支給シテハ吳レナインアリマス、ソヨデ、納期ハ嚴守シナケレバ  
ナラナイ、資材ハ斡旋シ放シデ支給ハシナイ、斯ウナリマスト、進駐軍ノ注  
文デアリマスカラ納期マデニドウシテモヤラナケレバナラナイト云フノデ、  
下請工場ハ必死ニナツテ其ノ資材ノ集  
メ方に奔走スル、其ノ奔走スル場合  
ニ、今日ノ實際ノ事情ニ於キマシテハ  
封鎖支拂ダケデハ資材ガ集マツテ來ナ  
イノデス、而モ親會社ニ與ヘラレタニ  
割ノ現金ノ中ノ何割カラ貰フニ過ギナ  
イ下請工場ト云フモノハ、資材ヲ集メ  
ル爲ニ必死ノ努力ヲシナケレバナラ  
ズ、相當ノ無理ヲシナケレバナラヌ、  
特ニ緊急ヲ要スル所ノ製品ヲ間ニ合ハ  
セル爲ニハ、全部新圖ヲ持ツテ行カナ  
ケレバ資材ガ手ニ入ラナイト云フヤウ  
ナ場合モアルノデアリマス、斯ウ云ツ  
タ意味ニ於キマシテ、大藏大臣ハ、進  
駐軍用ノ仕事ヲヤル場合ニ當リマシ  
テ、此ノ現金ト封鎖預金ノ割合ヲモツ  
ト増サシテ戴クヤウニスルコトハ出來  
ナイデ、セウカ、例ヘバ之ヲ封鎖ガ五  
割、現金ガ五割ト云フ風ニ致シマスナ  
ラバ、仕事が非常ニ早ク出來マシテ、  
進駐軍ニ叱ラレナイヤウニ納期ニ間ニ  
合フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付  
是非トモ御考慮ヲ顧ヒタイト考ヘルノ  
デアリマスガ、ドウ云フ風ニ考ヘラレ  
マスカ、御所見ヲ伺ヒマス

モ、復興用、食糧増産用ニ對シマシテモ  
何割カノ封鎖拂デナク現金デ支拂フ方  
法ヲ御考ヘニナツテ戴ケナイモノデア  
ラウカ、例ヘバ食糧問題ニ關係シテ農  
家ノ問題ノ實際ヲ申上ゲマスト、農家  
デモ實際ハ金ガ今アリマセヌ、併シ一  
ツノ實例ヲ申上ゲマスト、一町五反歩  
カラ約二町歩位耕ス所ノ農家ニ於キマ  
シテハ、ドウシテモ一年ニ最低五挺ノ  
鎌ガ要ルノデス、此ノ五挺ノ鎌ガ公定  
デアリマスト十圓以下テ買ヘマスケレ  
ドモ、實際ニナリマスト三十四カラ三  
十五圓出サナケレバ買ヘナイ、所ガ其  
ノ金ガアリマセヌノデ農家ハ、已ムナク  
鎌ガ要ルノデス、此ノ五挺ノ鎌ガ公定  
デアリマスト以テ取換ヘル、斯ウ云フ現狀  
之ヲ米ヲ以テ取換ヘル、斯ウ云フ現狀  
デアリマス、是ハツノ例ヲ取ツタノ  
デアリマスケレドモ、其ノ他ノ農業再  
生産用機具ヲ取入レル所ノ一つノ方法  
ニナツテ居ルノデアリマス、今日米ノ  
問題ガ非常ニヤカマシクナツテ居ルケ  
レドモ、是デハ米ノ横流シト云フモノ  
ハ絶エマセヌ、デスカラ農業再生産用  
ノ機械具ヲ買フ場合ニ於キマシテモ、  
農家ニ對シテ幾分封鎖ノ支拂ト云フモ  
ノヲ緩和シテ戴ケヤウニシテハドウ  
カ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、大臣  
ノ御所見ハ如何デアリマスカ、其ノ二  
點ヲ御伺ヒ致シマス

ソレカラ、私共ニハドウシテモ春込  
メナインゾアリマスケレドモ、最近ハ  
新國ガ五百億ヲ突破シテ居ルト云フモ  
トヲ聞カサレルノデアリマスガ、一體  
今放出サレテ居ル五百億以上ノ金ト云  
フモノハドウ云フ方面ニ廻ツテ居ルノ  
デアリマセウカ、私共中小工業者ノ立  
場カラ參リマスト、實際現金ト云フモ

業ノ持ツテ居リマセヌ、非常ニ中小工  
業ノ發展ガナケレバ、復活ガナケレ  
バ、躍進ガナケレバ、日本ハ仕方ガナ  
イト言ハシナガラ、其ノ中小工業者ノ  
生産方面ニ廻ツテ居ルノカ、或ハ又聞  
懷ロニハ現金ガアリマセヌ、スルト  
此ノ五百億ノ金ト云フモノハドウ云フ  
方面ニ廻ツテ居ルノデセウカ、例ヘバ  
屋サン方面ニ廻ツテ居ルノカ、或ハ又聞  
一體此ノ金ガドチラノ方面ニ廻ツテ居  
ルト御推定ナサルノデアリマスカ、一  
ツソレモ御所見ヲ承リタイト存ジマス  
モウ一ツハ今度ノ预算ニ於キマシ  
テ、是ハ自分ノ方ノコトヲ言フノデ甚  
大申譯ナイト云フカ、寧ロ氣ガ引ケル  
ヤウナ感ジモ致シマスケレドモ、重大  
ナ問題デアリマスカラ申上ダタイト思  
ヒマス、今度ノ预算ニ於キマシテ議員  
ノ歳費ワドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ  
オイデニナリマスカ、現在ハ御存ジノ  
ヤウニ年三千圓デアリマシテ、一箇月  
ニ割リマスト二百五十圓デアリマス、  
御存ジノヤウニ今度ノ憲法ニ於キマシ  
テ「國會は、國權の最高機關であつ  
て、國の唯一の立法機關である。」此ノ  
立法機關ニ參畫シテ居ル議員諸公々年  
ニ三千圓、月二百五十圓デハ、本當ニ  
調査研究ト云フモノハ私ハ出來ナイト  
思ヒマス、議員ニモソト十二分ニ調査  
研究ヲヤラセルダケノ餘裕ヲ與ヘ、費  
用ヲ與ヘテコソ、今後ノ議員ノ素質モ  
亦向上スルモノデナニカト考ヘア居  
リマス、之ニ對シマシテ大藏大臣ハ今  
度ノ豫算ニ於キマシテ此ノ點ヲ御考慮  
ナヌテオイデニナルカ、ナラニイ  
カ、此ノ點ヲ聽キタイト存ジマス、以  
上御答へヲ御願ヒ致シマス

者ニ支拂ヲ與ヘテ居ル、從來支拂ヲ與  
ヘテ居ツタト云フコトヲ私モ認メマ  
ス、ソコデ先般原則トシテ事業資金ハ  
貸出ニ依ルコト致シマシタ狃ヒモ、  
實ハソコニアル譯アリマシテ、之ニ  
依ツチ成ベク事業資金ハモウ新圓ダケ  
一本ニシタイト云ノガ私ノ考ヘデア  
リマス、唯金融ノコトハ御承知ノヤウ  
ニ餘リ断層ヲ付ケルコトハ好マシクナ  
イ影響モアルト存ジマシタノデ、稍々  
漸進的ニ行キタイト考ヘテ居ル次第デ  
アリマス、尙ホ併シ特ニ淮駐軍ノ註文  
ノ問題ト云フコトデ、差詰メニハ支障  
ガアリマスノハ、是ハ一々ノ具體的事  
實ニ付キマシテ御申下サレバ又何ト  
カ處置方付クノデハナイカト考ヘテ居  
ル次第デアリマス

テ、之ニ付テノ適當ナ處置ヲ考ヘテ居テスル様リデ居リマス  
○金子委員 サウシマスト、今後ノ見透シトシテ、銀行ヨリノ貸出シハ大體ニ於テ新圓ニ依ツテ貸出サセルト云フ方針デ居ラレマスカ、ソレカラ只今大藏大臣ガ申サレマシタヤウニ、放資サレタ新圓ガ大體家庭ノ中ニアルノデナレカト云フ御話ガアリシタガ、假ニ家庭ニアリマンテモ或ハ何處ニアリマシテモ、是ガ預金トナツテ現ハレテ居ナイト云フ話ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、預金ノ方ニハドノ位新圓ガ廻ツテ居リマセウカ  
○江澤政府委員 今ノ御質問ニ御答へ致シマス、新圓預金ハ最近ニ於テハ一時ヨリハ大分増勢顯著ニナツテ參リマシタ、勿論十分トハ申上げラレマセヌガ、四月中ノ全國ノ銀行ヲ例ニ取ツテ申上ダマスト、總額一千三百五十四億ノ中百三十四億ノ新圓預金ガゴザイマス、是ガ五月ニ入リマシテカラ總額千三百九十一億ノ全國銀行預金ノ中百六十九億ノ新圓預金ニナツテ居リマス、特ニ前月ニ於キマシテハ新圓預金ノ増加ハ極メテ値カズアリシタガ、五月ニ於キマシテハ前月ニ較ベマシテ預金總額ガ三十七億增加シテ居リマス中ニ三十四億ノ新圓ト云フコトニナツテ居リマス、數字上ハ大變好イ結果ニナツテ居ルト思ハレマス、今後ノ施策如何ニ依ルコトデゴザイマスガ、凡ユル意ニ於テ新圓預金ノ吸收ニハ最善ノ努

○石橋國務大臣 誤解ガアツテハイケ  
マセヌカラ今金子君ハ御質問ニモウニ  
ツ付加ヘタイト思ヒマス、貸出事業資  
金ハ原則シトテ貸出ニ依ル、ソレハ先  
程中上ダマシタヤウニ、狙ヒハ事業資  
金ハ全部新圓デヤツテ行クト云フコト  
ニシタノデアリマスガ、金融措置ハ  
斷脅的ナコトハイケマセヌカラ、ソコ  
ニ漸次新圓ノ部分ヲ弛メテ行ク、斯  
云フ方針ダ行キマス、ドウツ漸進主義  
ダレ云ノベトハ誤解ノナイヤウニ願ヒ  
マス

尚未實際ノ動キヲ見テ、適當ナ處理  
ヲシテ、建築上差支ヘナイダケノ處置  
ハシテ行キタイト考ヘマス

○金子委員 勿論一時ニヤルコトハ甚  
ガ危険ダラウトハ私モ思ヒマスケレド  
モ、實際ノ地方ニ於ケル銀行、金融機  
關ニ於キマシテハ、只今大藏大臣が申  
サレタ方向ニ果シテ向イテ行クカドウ  
カ、實際ハ現金デハ一錢モ貸シマセ  
ヌ、融通シテ異レマセヌ、是デハ困ル  
ノデアツテ、ドウカ當局ノ方カラサウ  
云フ重要性ヲ持ツ事業ニ對シテハ、漸  
進主義デアリマスカラ、今マデハ一錢モ  
モ貸サナカツタモノカ二割乃至三割  
ハ現金モ貸ス、後ハ封鎖デ、斯ツ云フ  
風ニヤツテ戴ケレバ途方闊カテ來ルノ  
デハナイカト考ヘテ居リマス、特ニ進  
駐軍ノ方ハ今申上ダマシタヤウニ、二  
割程度アリマスケレドモ之ヲ五割程  
度位マデニヤツテ威カナケレバ緊急  
仕事ニ間ニ合ハナイト云ソコトモ一ツ  
御記憶シテ戴イテ、金融方面ニ其ノ趣  
キヲ達シテ戴タバ、中小工業者ノ資材  
融資ニ非常ナ便利ニナシテアリマス、  
ドウカ實際ヲ申上ダルノデアリマスカラ

ラ、其ノ點ニ適當ナ御施策ヲ御願ヒ致  
優先的ニ復業サシテヤルカラト云フ  
澤山失業シテ居リマス、是ハ私共ノ縣  
内ニ於キマシテモ、各業者ガ商權ノ同  
復ノ爲ニ猛運動ヲ起シテ居リマス、縣  
當局ニ於キマシテモ、或ハ又稅務署  
係ニ於キマシテモ、大藏當局ガ之ヲ容  
認スルナラバ、元通りニシテモ宜シ  
ト云フコトヲ言ツテ居ルノアリマス  
ス、當局ノ方デハ其ノ酒小賣業者ノ復  
糧ノ問題ニ對シマシテ、ドウ云フ御御  
ヘラ御持チデアリマスカ、實際カラ  
ヘバ是ハモウ失業狀態デアリマス、職  
時中ハ微用ニ取ラレタ者モアリマセウ  
シ、且又徵用デナクトモ全然失業狀態  
ニ陥リマシテ、今路頭ニ迷フヤウナ者  
ガ澤山アリマス、勿論酒ハ少トイト云  
コトハ分シテ居リマス、實際ノ所ヲ  
上ゲマスト、其ノ殘業サレタ業者ガ、其  
ノ特權的ナ地位ヲ利用シテ酒ニ水ヲ販  
シテ、水酒デ賣ツテ暴利ヲ貪ツテ居ル  
者ガ澤山アル、是ハ最近私共ノ縣内ニ  
於キマシテモ、色々サレタ業者ニ對  
スル所ノ一般消費者ノ不評ガアル、斯  
ウ云フ點カラ考ヘテモ、且又失業問題  
ノ解決カラ首ツテモ、其ノ戰時中ニ  
無理矢理ニ整理サレタ小賣業者ノ方々  
ヲモウ一邊復業サシテ、サウンシテ少ク  
トモ其ノ職業ニ對スル所ノ安心感ヲ増  
サレルト云フコトガ、私ハ今日ノ人心  
ニ與ヘル大キナ影響モアルノデハナイ  
カトス考ヘテ居リマス、此ノ點ニ  
シマシテ酒小賣業者ノ復權ニ對シマ  
テ、當局ニ於キマシテハドウ云フ御  
ヘラ御持チニナツテ居リマスカ、復權  
サシテ戴ク御考ヘデアリマスカ、又文

業ノ儘デ放置シテ置ク御考ヘアリマスカ、一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス  
○池田(墨)政府委員 酒ノ小賣業者ニ付キマシテハ、御話ノ通りニ戰時中業者團體ヲ相談ノ上整理ヲ致シマシタ、隨て其ノ際ニ實績等モ賣却スルト云フ方法ヲ執ツテ致シタノアリマス、最近ハ先程御話申上ゲマシタヤウニ、酒類ノ配給が非常ニ減ツテ參リマシタノデ、今現存シテ居ラレル業者モ數ガ多過ギルノデハナイカト云フ氣持ヲ持ツテ居ルノアリマス、隨テ廢業ナサツタ小賣業者ヲ今直チニ復活スルト云フコトハ、只今ノ所考ヘテ居リマセヌ、既存ノ小賣業者ガ配給スペキ酒ヲ水割リワスルト云フ御話デゴザイマスガ、若シサウ云フコトガアリマシタナラバ、酒稅法ニ規定ガアリマスノデ敵重取締リタイト考ヘテ居リマス  
○金子委員 酒ノ量ガ少イカラ失業シテ居る方々ニ對シテ救ヒノ手ヲ伸ベルコトガ出來ナイト云フコトデアリマスガ、併シ實際カラ申上ゲマスト、殘存業者ニ於キマシテモ心アル人ハ、寧ロ整理サレタ方々ニ對シテ、氣ノ毒ダカラ、三斗ノ配給ヲ受ケレバ自分ハ一斗ニシテ、二人ノ人ヲ復權サシテ、アトノ二人ガ一斗ツツ取ソテモ此ノ生活ノ苦シミヨ共ニ分チ合ヒタイ、斯ウ言ツテ居ル所ノ殘存業者ガ澤山アリマス、中ニハ勿論復權スレバ自分ノ賣レ高ガ減ルカラ反對ダム、吾フ人モアリマスケレドモ、今日同胞愛ガ叫バレテ居ル際に當リマシテ、殘存業者ハ其ノ整理サレタ業者ニ對シマシテ非常ナ同情ヲ持ツテ、若シ當局ガ許スナラバ自分ノ持ツテ居ル三斗ヲ、自分が一斗ニシテアト一斗ツツ分ケテ與ヘテ、サウシテ配給サシテヤリタイ、斯ウ云ツタ氣持デ

居ルコトハ是ハ事實デアリマス、此ノ點ニ對シマシテモ一ツ當局ハ、唯單ニレフ賣ル人間ヲ殖ヤシタノデハ、今賣ツテ居ル人間ハ困ルヂヤナイカト云フ。今賣ツテ居ル御言葉ガアリマスケレドモ、是ハ實際ヲ知ラナイ言葉ニアツテ、實際ノ狀態ヲ知ツテ居ル我々ニ取ツテハ通用シナイ言葉、ダト考ヘテ居リマス、ソレカラ酒ノ業者が復權致シマスナラバ、ソレハ酒バカリデナク喰噛、醬油其ノ他ノモノガ賣レルノデアリマス、其ノ爲ニ生活ガ辛ウジテ維持出來ルト云フ現狀ニナツテ來ルノデアリマス、デスカラ此ノ點ハ一ツ十分ニ御考ヘナサツテ、唯單ニ今デモ少イ、其ノ少イモノヲ又殖ヤシタノデハ殘存業者が困ルデハナイカト云フヤウナ、サウ云ツタイト云フヤウナ陳情書ガ若シ當局ニ出マシタナラバ、當局ハ此ノ失業シテ居ル方々ニ對シテ復權サセル意思ハナイカ

ソレカラ水酒ニ付キマシテ、是ハ事實アルノデアリマシテ、水酒ヲ賣ツテ

消費者ニエライ迷惑ヲ掛け居ルノガ澤山アル、斯ウシタ不正ヲ働イタ業者

業者ト相談ノ上ト言ヒマスケレドモ、

職時中ニ於ケル所ノ整理ト云フモノ

ハ決シテ相談ノ上デハアリマセヌ、是

ハモウ強制的ニ其ノ當時ノ經濟警察ト

居ルコトハ是ハ事實デアリマス、此ノ點ニ對シマシテモ一ツ當局ハ、唯單ニレフ賣ル人間ヲ殖ヤシタノデハ、今賣ツテ居ル人間ハ困ルヂヤナイカト云フ。今賣ツテ居ル御言葉ガアリマスケレドモ、是ハ實際ヲ知ラナイ言葉ニアツテ、實際ノ狀態ヲ知ツテ居ル我々ニ取ツテハ通用シナイ言葉、ダト考ヘテ居リマス、ソレカラ酒ノ業者が復權致シマスナラバ、ソレハ酒バカリデナク喰噛、醬油其ノ他ノモノガ賣レルノデアリマス、其ノ爲ニ生活ガ辛ウジテ維持出來ルト云フ現狀ニナツテ來ルノデアリマス、デスカラ此ノ點ハ一ツ十分ニ御考ヘナサツテ、唯單ニ今デモ少イ、其ノ少イモノヲ又殖ヤシタノデハ殘存業者が困ルデハナイカト云フヤウナ、サウ云ツタイト云フヤウナ陳情書ガ若シ當局ニ出マシタナラバ、當局ハ此ノ失業シテ居ル方々ニ對シテ復權サセル意思ハナイカ

ソレカラ水酒ニ付キマシテ、是ハ事實アルノデアリマシテ、水酒ヲ賣ツテ

消費者ニエライ迷惑ヲ掛け居ルノガ澤山アル、斯ウシタ不正ヲ働イタ業者

業者ト相談ノ上ト言ヒマスケレドモ、

職時中ニ於ケル所ノ整理ト云フモノ

ハ決シテ相談ノ上デハアリマセヌ、是

ハモウ強制的ニ其ノ當時ノ經濟警察ト

云フモノガ之ヲ廢メサシテ、緣故關係トカ何トカ云フモノヲ殘シタト云フコトハ事實デアリマス、デスカラサウシタコトヲ考ヘマスレバ、残ツテ居ル方モ、氣ノ毒ダ、若シ當局ガ許スナラバ分子與ヘテモ宜シ、斯ウ云フ態度ニ出テ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ハ今ノヤウナ御答辯デナク、若シ殘ツテ居ル者ト整理サレタ者トガ氣持好ク相互ヒニヤツテ行カウド云フ氣合ガ乘ルナラバ、當局ハ之ニ反對シナイト云フ態度ヲ執ツテ戴ケルカドウカ、ソレカラ今申上ゲマシタ水酒ヲ賣ツテ二回モ三回モ警察ニ學グラレテ居ル者ガ、依然トシテ殘存業者トシテ酒ヲ賣ツテ居ルコトガ出來ル、之ニ對シテ一體當局ハドウ云フ御考ヘヨ御持チデアルカ、廢メサセルベキ性質ノモノデアリマセウカ

○池田(勇)政府委員 御質問ハ二點デゴザイマスガ、殘存業者カラ轉廢業者ノ復活ヲ陳情シタ場合ニ認メルカドウカ、此ノ點ニ付キマシテハ 酒税ノ保全、或ハ酒類ノ配給、色々ナ點カラ考ヘマシテ決メルベキ問題ダト思ヒマス、唯戰時中ハ強壓的ニ廢業サセタ、斯ウ云フ御話デゴザイマスルガ、各府縣ニ設ケラレマシタ企業整備委員會ノ議ヲ經テ轉廢業者ヲ決メテ居ル次第デ

云フコト、是ハ御答ヘト云フ意味ニモナリマセヌガ、併セテ一寸私ノ意見ヲ申上ゲマス

○竹田委員長 ソレデハ本日ノ質疑ハ

此ノ程度ニ止メマシテ、明日午前十時カラ續行致シタイト思ヒマス、本日ハ

ト云フコトニ付キマシテハ、情狀其ノ

第二ノ水酒ヲ賣ツテ居る業者ガアツタラドウ云フ處置ヲ執ルカ是ハ規格違

反ニ觸レ、隨テ酒税法上ハサウ云フコトヲヤヅタ場合ハ免許ヲ取消スコトニ

ナツテ居リマス、併シ一回水ヲ入レテ

水酒ヲ賣ツタ人ヲ直ク免許ヲ取消スカ

ト云フコトニ付キマシテハ、情狀其ノ

他ニ依ツテ考ヘナケレバナムト思ヒ

マス

○石橋國務大臣 今ノ酒ノ小賣業者ヲ

ドウスルカト云フ具體的問題ハ別トシ

マシテ、是ハ御承知ノヤウニ戰前ニ於

テモ中小商業ノ——地方ニ依リマスケ

レドモ、非常ニ多過ギテオ互ヒニ生活

ガ出來ナ、是ハ東京アタリデハ委員

會ガ作ラレテ、私ナドモ始終呼出サレ

テ居ツタガ、ドウシテ之ヲ救濟スルカ

ト云フコトガ絶エザル問題デ苦シ

ダ、サウ云フ觀點カラ全體日本ノ經濟

産業ノ建前カラ、地方ノ事情ニ依リマ

セウガ、假ニ今殘ツテ居ル業者ガ休

ンデ居ル人ヲ氣ノ毒ダト言ツテ之ヲ救

濟セラレテ、同ジ商賈ヲ又ヤラセルト

云フコトモ餘程検討シテ戴カナイト容

易ニ決メ得ナイコトデス、唯一時ノコ

トデナク、其ノ地方或ハ全國ノ産業ヲ

ドウ云フ風ニ持ツテ行クカト云フコト

デ、政府モ研究シナケレバナリマセヌ

ガ、各地方ニ於テモ御研究願ヒタイト

云フコト、是ハ御答ヘト云フ意味ニモ

ナリマセヌガ、併セテ一寸私ノ意見ヲ

申上ゲマス

是ニテ散會致シマス

午後六時十二分散會

昭和二十一年七月三十一印刷

昭和二十一年八月一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局